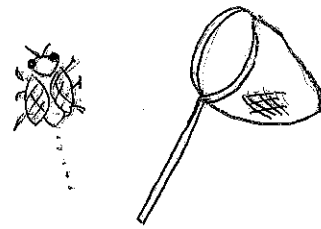


# 7がつ

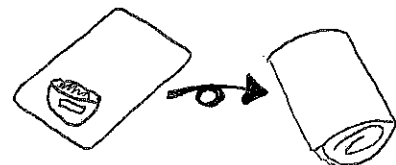
かせ そら たいよう  
クラスだよ

2024.07.29 円町まぶね隣保園



## かせぐみ プールあそび

待ちに待ったプールあそびが始まりました。昨年まで入っていた乳児用のプールではなく、今年からは、大きな幼稚園用のプールに入っています。安全に皆で入れるように、プール前に約束事(友だちの上に乗らない、押さない、ホースを角触りしない等々)を伝えると、真剣にその話を聞いていた子どもたちでした。又、プールに入る為の準備や、プール後の着替え、脱いだ水着やタオルをどうするのかという事も伝えました。「プールキャップに水着を入れ、広げたタオルに巻く」言葉だけではなく、実際にやって見せることですぐに理解して巻いていました。キャップに巻きたく、何度も巻き直したり、巻いていればそれだけでOKだったり、どの姿をとってもそれぞれの個性があります。



プールの中では、リズムを楽しんだり、フープにつかまって引っ張ってもらったり、トンネルくぐりしたり、全身で水の気持ち良さを味わっています。プール初日はパンツの上から水着を着用している子どももいましたが、約1ヶ月経った今では、慣れた様子で準備をしています。

## 夏ならではのあそびで解放的に

先日、ボディパインティングをたんぽぽぐみと一緒にに行いました。たんぽぽぐみの子どもたちは、少し苦手な様子を見せていましたが、かせぐみの子どもたちは真先に絵の具を手に取り、どんどん身体につけていき、あっという間に全身水色になっていました。そして、その上から他の色を重ね、自分の腕や足で色を混ぜたり、絵の具の入った洗面器の中に入ったり、ダイナミックな姿を見せていました。たんぽぽぐみの子どもが戸惑っていると、そと顔を覗き込んで様子を伺う優しい関わりや、友だち同士で絵の具をつけ合い、キャーと心も解放的になり、笑顔一杯でした。絵の具を洗い流す際には、一列になり、お友だちの背中をゴシゴシと皆で洗い合せて「あふるみたーい♡」と最後まで楽しんだ子どもたちでした。

まだまだ暑い夏は続きます。8月も夏ならではのあそびをおもいっきり楽しみ、皆で「あ～たのしかった♡」と言える時間を大切に過ごしたいと思います。

G.W明けに植えたパプリカと大根が育ってきました！

なかなか実が出来なかつたパプリカにもついに花が咲き、小さなパプリカが♪ プールの時に発見し、「あーおはな♪」「ちいさいのがある」と大喜びしていました。大根の葉も大きくなり、「こねまてまてる?」と、収穫できる日を、楽しみにしています。



元気なセミの鳴き声が聞こえるようになってきました。梅雨が明け、いよいよ夏本番です。暑くなり、身体も疲れやすくなっているのを、生活リズムを整え、しっかり休んで、水分補給をして熱中症にも気を付けていきましょう。

## かせぐみ・たいようぐみ

### ◎ プールあそび

今月から楽しみにしていたプール遊びが始まりました。プール開きの前に、朝のお集まりで子どもたちにプールが好きなか聞いてみるとほとんどの子どもが「好き〜!!」とこのことで嬉し。中には「ちょっと苦手かも...」と答える子どももいて、友だちからの様子を見ていますが、「あー? 苦手かもって言ったけど...!!」とこちらが驚くくらい友だちや保育者とキャー笑いながら入っています。子どもたちはホースから出る水も「雨」や「トンネル」「当たったらいいなもの」などに例えて、イメージを膨らませて遊んでいます。イルカになりきってジャンプしたり、忍者になりきってホースからの水に当たらないようもぐって泳いだり、フニ泳ぎでくぐったり、ラッコになりきって浮かんだり楽しんでいます。息を止めて顔をつけられたり、もぐって泳げる距離をのびたりと友だちの姿も見刺激を受けながら、「出来るかな」「出来ないかも」と自分の中で葛藤しながら、やってみたい気持ちと励ましの声かけなどが重なって、よし! やってみよ! と自分を奮い立たせて、出来るようになった時、達成感や自信につながっていると思います。水を泳いで自分の中で出来るようになったところが増えてきて、「先生見てよ!」「いぞ!」と嬉しそうなお子たちです。気温も高くなってきて、戸外でのびのびと遊んだり、はかばか遠くまで散歩にも行けなかつたりするのでプールや水遊び、夏ならではの感觸遊びなどを通して、心も身体も開放的に、存分に夏の遊びを楽しみたいと思います。



### ◎ 梅シロップ作り

6月下旬、梅の実と氷砂糖を使って梅シロップ作りをしました。袋に入っている上からでも梅の匂いがふわっとして「いい匂いするー!」と目をキラキラさせる子どもたち。実際に角砂糖と匂いを嗅いで、「淡いやさしい(優しくね)」と声をかけると、そと慎重に角砂糖を握っています。梅を水洗いするグループ、ハタをとるグループ、ビンに氷砂糖を入れるグループとそれぞれの工程をつないでいきます。違うグループがする時も、もうちょっと離れて見よかというくらい興味津々でした。水洗いした梅を優しくキッチンペーパーで拭き、ハタ取りします。竹串を使うのですが、優しく言われたし失敗したらあかんし...「どうやるん?」と不安そうな表情の子どももいます。保育者と一緒に1つ1つ回つと上手に取る姿があり、嬉しそうでした。氷砂糖と防腐剤としてお酢を少し入れ、「おいしくなるよ」とおまじないをして、そら、たいよう組友だちで職員室の冷蔵庫に入れてある瓶を振り回しています。日が経つごとに氷砂糖が溶けてシロップが出来てきている瓶を間近で見つめ「ジュースでできるー!」「すじー!」「はなでやる」「梅が黄色かったのに茶色になってる!」「なんかシロップ!」と不思議そうです。みんなでおしゃべりを楽しんでいます♡\*

